

## 文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	兵庫県三木市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	三木市文化遺産を活用した地域活性化プラン		
4 実施計画期間	平成 23 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>三木市観光基本計画（平成14年3月策定）及び兵庫県教育委員会が作成した歴史文化遺産活用ガイドライン（平成19年3月作成）に基づき、価値の発見→価値の共有→活用の計画→活用の実践へと進めていくため、以下の取を実施する。また、計画期間中、以下の取組を通じて行政と民間団体、文化財保護団体による連携・協力体制の確を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 歴史文化ウォッチングの開催</li> <li>2 歴史文化遺産を活用したワークショップの開催</li> <li>3 歴史文化遺産を活用した講演会の開催</li> <li>4 祭りの屋台・獅子舞等地域の文化遺産継承のために用いる用具の新調・修理事業</li> </ol>			
6 実施体制			
<p>三木市が、本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等を行う。主な担当課、役割は下記のとおり。</p> <p>教育委員会文化スポーツ振興課：各補助事業における文化財の取扱等に関する指導・調整等 商工観光課：歴史文化遺産を活用した観光業務に関する企画・調整等</p> <p>また、補助事業は次の団体が実施する。 三木市文化遺産活性化実行委員会（会長：西本則彦） 構成団体（三木市、三木市観光協会、下町屋台保存会、平田町屋台保存会、高木子供屋台奉賛会、大手町屋台保存会、石野町祭り保存会、美坂社奉賛会、久留美屋台奉賛会、宿原屋台保存会、御坂神社太鼓保存会、全明石町奉賛会、明石町青年団）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 62,650 千円	平成29年度申請額： 6,432 千円
	(2) 実施事業の概要	歴史文化ウォッチング事業、後継者養成・屋台用具整備事業	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>市民の伝統文化に対する関心や意識が向上し、歴史文化を再認識することで、歴史文化の薫る町として発展的に動して行く基礎づくりができ、次世代への確実な継承とともに、地域が一体となって、文化財保護や地域の活性化期待できる。</p> <p>また、行政と文化財保護団体、観光協会、大学等が連携し、様々な事業推進、情報発信を行うことで、観光客の加に寄与することができる。</p> <p>特に、文化遺産関連施設の観光入込客数については、平成28年度35,453人から平成33年度には44,000人への上昇を目指す。</p> <p>各地区の屋台保存会会員数については、全体で平成33年度には平成28年度比で10%の増加を目指す。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	なし		
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
なし			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	三木市教育委員会教育企画部文化スポーツ振興課（みき歴史資料館）		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	金物資料館、旧玉置家住宅、旧小河家別邸等の観光入込客数			関連事業:	①歴史文化ウォッチング事業	
目標値 1 :	平成 28 年度		35,453 人	⇒	平成 33 年度 44,000 人	
設定根拠 1 :	平成27年度の観光入込客数 (19,366人) の23年度比の伸び率約1.24倍を参考にしつつ、伸び率1.3倍を設定した。28年度に開館したみき歴史資料館の入込客数 (28年度15,372人) を加えた。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 2 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	下町屋台保存会の会員数			関連事業:	②下町屋台保存会後継者養成事業、③下町屋台用具整備事業	
目標値 2 :	平成 28 年度		289 人	⇒	平成 33 年度 289 人	
設定根拠 2 :	下町屋台保存会を構成する前田町、下町、丸一町の人口社会減の状況から、現状維持を設定					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 3 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 3 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	平田町屋台保存会の会員数			関連事業:	④平田町屋台用具整備事業	
目標値 3 :	平成 28 年度		242 人	⇒	平成 33 年度 260 人	
設定根拠 3 :	平田町屋台保存会を構成する平田地区の住民意識を高めて会員数の上昇を目指す					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 4 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 4 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 4 :	高木子供屋台奉賛会の会員数			関連事業:	⑤高木子供屋台奉賛会屋台用具整備事業	
目標値 4 :	平成 28 年度		59 人	⇒	平成 33 年度 80 人	
設定根拠 4 :	高木子供屋台奉賛会を構成する高木地区の住民意識を高めて会員数の上昇を目指す					
進捗状況 4 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	

目標区分 5 :	伝統文化の継承体制の維持・確立				
評価指標区分 5 :	祭礼行事への参加住民数 (具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標 5 :	大手町屋台保存会の祭礼行事への参加住民数	関連事業:		⑥大手町屋台保存会屋台用具整備事業	
目標値 5 :	平成 28 年度	50 人	⇒	平成 33 年度	50 人
設定根拠 5 :	大手町屋台保存会を構成する大手町の人口社会減の現状から、現状維持を設定				
進捗状況 5 :	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
人	人	人	人	人	人
目標区分 6 :	伝統文化の継承体制の維持・確立				
評価指標区分 6 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標 6 :	石野町祭り保存会の会員数	関連事業:		⑦石野祭り保存会屋台用具整備事業	
目標値 6 :	平成 28 年度	103 人	⇒	平成 33 年度	125 人
設定根拠 6 :	石野町祭り保存会を構成する石野地区の住民意識を高めて会員数の上昇を目指す				
進捗状況 6 :	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
人	人	人	人	人	人
目標区分 7 :	伝統文化の継承体制の維持・確立				
評価指標区分 7 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標 7 :	美坂社奉賛会の会員数	関連事業:		⑧美坂社奉賛会屋台用具整備事業	
目標値 7 :	平成 28 年度	80 人	⇒	平成 33 年度	80 人
設定根拠 7 :	美坂社奉賛会を構成する東這田地区の人口社会減の状況から、現状維持を設定				
進捗状況 7 :	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
人	人	人	人	人	人
目標区分 8 :	伝統文化の継承体制の維持・確立				
評価指標区分 8 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標 8 :	久留美屋台奉賛会の会員数	関連事業:		⑨久留美屋台奉賛会屋台用具整備事業	
目標値 8 :	平成 28 年度	120 人	⇒	平成 33 年度	120 人
設定根拠 8 :	久留美屋台奉賛会を構成する久留美地区の人口社会減の状況から、現状維持を設定				
進捗状況 8 :	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
人	人	人	人	人	人
目標区分 9 :	伝統文化の継承体制の維持・確立				
評価指標区分 9 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標 9 :	宿原屋台保存会の会員数	関連事業:		⑩宿原屋台保存会屋台用具整備事業	
目標値 9 :	平成 28 年度	50 人	⇒	平成 33 年度	85 人
設定根拠 9 :	宿原屋台保存会を構成する宿原地区の住民意識を高めて会員数の上昇を目指す				
進捗状況 9 :	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
人	人	人	人	人	人

目標区分10:	伝統文化の継承体制の維持・確立				
評価指標区分10:	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数				(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標10:	御坂神社太鼓保存会の会員数		関連事業:	⑪御坂神社太鼓保存会屋台用具整備事業	
目標値10:	平成 28 年度 36 人		⇒	平成 33 年度 36 人	
設定根拠10:	御坂神社太鼓保存会を構成する御坂神社氏子地区の人口社会減の状況から、現状維持を設定				
進捗状況10:	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
人	人	人	人	人	人
目標区分11:	伝統文化の継承体制の維持・確立				
評価指標区分11:	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数				(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標11:	全明石町屋台奉昇会保存会の会員数		関連事業:	⑫全明石町屋台奉昇会用具整備事業	
目標値11:	平成 28 年度 74 人		⇒	平成 33 年度 84 人	
設定根拠11:	全明石町屋台奉昇会を構成する明石町、宮前町、清水町、大日町、柚宮町の住民意識を高めて会員数の上昇を目指す				
進捗状況11:	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
人	人	人	人	人	人
目標区分12:	伝統文化の継承体制の維持・確立				
評価指標区分12:	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数				(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標12:	明石町青年団の会員数		関連事業:	⑬明石町青年団屋台用具整備事業	
目標値12:	平成 28 年度 31 人		⇒	平成 33 年度 35 人	
設定根拠12:	明石町青年団を構成する明石町、宮前町、清水町、大日町、柚宮町の高校生から29歳までの会員対象者の意識を高めて会員数の上昇を目指す				
進捗状況12:	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
人	人	人	人	人	人

## 8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	歴史文化ウォッチング事業	実施団体：	(一社) 三木市観光協会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要：	<p>まち歩き（フィールドワーク）により、市内に存する地域固有の歴史文化遺産を再発見し、参加者の視点で残していきたいと考える資源を各自数点程度に記録し、当該資料をもとにワークショップ繋げることにより、文化財に対する認識度が高まり次世代へ文化財を継承していく意識の醸成が期待できる。</p> <p>企画・指導・実施については神戸芸術工科大学と連携することとし、まち歩き後はアンケートを実施し市民の歴史文化に対する関心度調査を併せて実施する。</p>					
評価指標区分：	・地域の文化遺産イベント等（本事業の取組を除く）におけるソーシャルキャピタル数（協賛企業・団体、賛同者等）			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	三木市観光協会の会員団体数の増加を目指す					
目標値：	平成 28 年度	136 団体	⇒	平成 33 年度	142 団体	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
団体	団体	団体	団体	団体	団体	
事業②：	下町屋台保存会後継者養成事業	実施団体：	下町屋台保存会			
事業区分：	後継者養成	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要：	下町屋台保存会の会員を対象に、公民館を会場とした実技訓練等を開催する。					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	下町屋台保存会を構成する前田町、下町、丸一町の人口社会減の状況から、現状維持を設定					
目標値：	平成 28 年度	289 人	⇒	平成 33 年度	289 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
事業③：	下町屋台用具整備事業	実施団体：	下町屋台保存会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要：	屋台の各部位に傷や損傷が生じ、屋台の運行に危険が生じるため、修理を実施する。修理後、10月7・8日の例大祭においてお披露目する。					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	下町屋台保存会を構成する前田町、下町、丸一町の人口社会減の状況から、現状維持を設定					
目標値：	平成 28 年度	289 人	⇒	平成 33 年度	289 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	





事業⑩：	宿原屋台保存会屋台用具整備事業	実施団体：	宿原屋台保存会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	屋台担ぎ本棒金具と布団屋根赤羅紗・天幕が、長年の経年劣化により損傷が激しいため、取替を行う。修理後、10月21日の例大祭において、修理完成お披露目会を開催する。					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	宿原屋台保存会を構成する宿原地区の住民意識を高めて会員数の上昇を目指す					
目標値：	平成 28 年度		50 人		⇒ 平成 33 年度 85 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
事業⑪：	御坂神社太鼓保存会屋台用具整備事業	実施団体：	御坂神社太鼓保存会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	旧志染中屋台の布団屋根が、長年の経年劣化により、骨組み部分の木部の損傷が激しいため修理を行う。その他、赤羅紗の生地の変色・ほつれ・色やけ、飾り房の変色・ほつれが激しいため、取替を行う。修理後、氏子地域に回覧等で案内を出して報告するほか、5月5日の衛大祭において、修理完成お披露目会を開催する。					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	御坂神社太鼓保存会を構成する御坂神社氏子地区の人口社会減の状況から、現状維持を設定					
目標値：	平成 28 年度		36 人		⇒ 平成 33 年度 36 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
事業⑫：	全明石町屋台奉昇会用具整備事業	実施団体：	全明石町屋台奉昇会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	全明石町屋台の屋台係の法被について、昭和46年以前から補修や買い足しを適時おこなってきたが、屋台係増加による数量不足とともに、長年の経年劣化により、ほつれ等の傷みが激しいため新調を行う。新調後、10月7・8日の例大祭においてお披露目する。					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	全明石町屋台奉昇会を構成する明石町、宮前町、清水町、大日町、杣宮町の住民意識を高めて会員数の上昇を目指す					
目標値：	平成 29 年度		74 人		⇒ 平成 33 年度 84 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	



事業⑬：	明石町青年団屋台用具整備事業	実施団体：	明石町青年団			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	明石町青年団の法被について、昭和46年以前から補修や買い足しを適時行ってきたが、長年の経年劣化により、色落ちやほつれ等の傷みが激しく、整理したことにより大幅に数量が不足していることから新調を行う。新調後、10月7・8日の例大祭においてお披露目する。					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	明石町青年団を構成する明石町、宮前町、清水町、大日町、杣宮町の高校生から29歳までの会員対象者の意識を高めて会員数の上昇を目指す					
目標値：	平成 28 年度	31 人	⇒	平成 33 年度	35 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	